

月 報

フルードパワー

No. 256 2020. 10. 31

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部 : 〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8号 機械振興会館内

TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部 : 〒651-2239 兵庫県神戸市西区櫛谷町松木234番地

川崎重工業（株）精密機械・ロボットカンパニー 企画本部内

TEL. 078 (991) 1133 FAX. 078 (991) 3186

2020年度（第13回）西日本支部総会開催

2020年度（第13回）西日本支部総会が、10月22日（木）15:30～16:10までの間、兵庫県神戸市の1414「神戸ポートピアホテル」の「トペーズの間」で開催されました。当日は、高橋西日本支部長及び支部会員の皆様方や本部から安藤会長を始め、副会長、監事、理事の皆様方に加え近畿経済産業局製造産業課長見康弘課長補佐殿を始めとするご来賓及び関連団体関係者等の皆様方35名の出席の下、以下の議事次第により議事が進行し16:10に無事終了しました。



挨拶をする高橋西日本支部長

主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

第13回西日本支部総会開催	1	技術調査事業	7
2020年度理事懇談会	4	中小企業関連事業	9
委員会開催・活動状況		今後の主要行事予定	9
需要対策事業	5	出荷統計	13
標準化事業／ISO 対策事業	6		
標準化事業／規格事業	7		

(一社) 日本フルードパワー工業会

URL : <http://www.jfpa.biz/>

なお、今回は支部総会の前に、川崎重工（株）殿のアレンジで PCR 検査システムを開発しているシステムエクス（株）と手術支援ロボットを開発している（株）メディカルトイドを訪問する見学会を行いました。

第 13 回西日本支部総会議事次第

1. 開会
2. 前支部長挨拶 高橋秀彰住友精密（株）代表取締役社長
3. 御来賓紹介
4. 会長挨拶 安藤毅東京計器（株）代表取締役社長
5. 御来賓祝辞 近畿経済産業局製造産業課長見康弘課長補佐
6. 本部報告 藤原専務理事
7. 支部報告 八木住友精密工業（株）油機事業室長
8. 新支部長挨拶 嶋村英彦川崎重工（株）常務執行役員
9. 閉会

定刻に支部事務局より支部総会の開催宣言があり、高橋支部長より以下の挨拶がありました。

「皆様、本日はご多忙の中フルードパワー工業会西日本支部総会にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。住友精密工業の高橋よりご挨拶させていただきます。

年初からコロナ禍で会合等が軒並み中止となり、この様にお顔を合わせてお話しする機会は随分久しぶりではないでしょうか。リモートで様々な事が出来てしまう世の中になりましたが、やはり人と人の交わりというのは無くてはならない事だと改めて感じております。

一方、世界中で多くの方がコロナウイルス感染によりお亡くなりになられます。お亡くなりになられた方々にお悔やみ申し上げるとともに、医療関係を始めとする皆様のご尽力に心から敬意と感謝を表します。

世界全体でコロナ感染リスクが完全に収束するのはまだ暫く先になることと思われます。産業の振興と感染防止の難しいバランスを追う局面が続き、いわゆるウィズコロナの状況の中で各企業の皆様は様々な取り組みで乗り越えていく努力をされている事と存じます。

弊社事で恐縮でございますが、私共の会社は航空機事業が主力で御座いまして、飛行機が飛ばない事には手の打ちようも極めて限られ、大変苦労して御座います。

方や一早くコロナを収束させた中国では、政府の振興施策も相まって非常に活況を呈しており、事業に

より様々な状況で御座います。

本年開催予定であった東京オリンピックも延期を余儀なくされました。その中、若干二十歳の池江璃花子選手の復活は我々に勇気と希望を与えてくれました。オリンピックを前にして命の危険に晒され、どんなに落胆された事でしょうか。細くなつた肩の筋肉が辛かった日々を連想させますが、先日のインカレでは見事な復活の泳ぎを見せてくれました。私も思わず目頭が熱くなった次第で御座います。今後大いに活躍を期待したいものです。

今、日本のみならず世界中が非常に厳しい状況に立たされております。しかしコロナの治療方法やワクチン開発のための研究は着実に進んでおり、明るい兆しも見えてきて御座います。来年には東京オリンピックの開催が決定しております。その先には大阪万博をはじめとする大規模プロジェクトも控えています。日本、この関西地区の皆様が、そしてフルードパワー業界が活力・活気を取り戻し、思う存分ご活躍される日を皆様で引き寄せようではありませんか。

最後になりますが、本日の支部総会に参加いただきました関係各社、各機関の皆様方の益々のご健勝とご活躍を、そして会員各社様の益々のご発展を祈念して簡単では御座いますが私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。」

その後、事務局から来賓の紹介があり、安藤会長より以下の挨拶がありました。



挨拶をする安藤会長

本年 5 月の書面理事会で会長に選任されました安藤でございます。

工業会様々な行事が今年は中止ということになりました、これまで皆様にご挨拶ができませんでした。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

西日本支部の方々にはコロナ禍の中、この様な場を作っていただき大変感謝する次第でございます。また本日はご多忙のところ近畿産業局製造産業課長見

課長補佐をはじめとする関係機関の皆様方にも御臨席を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年はラグビーワールドカップで日本中が盛り上がってましたが、水を差すような台風 19 号の最中の西日本支部総会でございました。

今年は新型コロナウイルスと 2 年続きで災害に見舞われております。

年明けに入った新型コロナウイルスのニュースから、まさかここまで感染が拡大することを多くの方々が予想できなかつたかと思います。ウイルスの世界的な感染拡大が人々の健康と安全を驚かし、都市封鎖・移動の制限により世界経済は未曾有の危機に陥りました。

この様な中、日本では感染拡大防止と経済活動の再開の両立に向け、テレワーク・遠隔医療・遠隔学習等が導入され始めました。これがまだまだ多くの課題はありますが、一方で定着も進んでおります。ウィズコロナ、そしてアフターコロナにより、これまでの社会のルールや仕組みが大きく様変わりしていく、ニューノーマルな転換点にかかりつつあるのではないかと思います。

さて、足元の景況感について少しお話をさせていただきます。

工業会の数値を見てみると、今年 1 月から 8 月までの油圧機器出荷額は対前年比 -17.3%、約 2,200 億円でございます。影響の大きかった 4 月から 8 月までで見ますと、対前年比 -22.2% と大幅にダウンをしております。土木建設機械向け、工作機械向け等ほとんど全ての市場分野が大きく減少しておりますが、中国向け輸出等一部改善しつつあります。

また、空気圧は 1 月から 8 月までの累計では対前年比 -1.2% の 2,746 億円、これが 4 月から 8 月までで見ますと対前年比 -2.4% となっております。ただ輸出関連が堅調なこともあります、油圧機器程の影響は受けておりません。国内ではこの中で 4 月から 6 月の実質国内総生産 GDP は、前期比 7.9% 減、年率換算 28.1% 減となりました。ただ 6 月の鉱工業生産指数は 5 カ月ぶりに上昇、7 月の対前月比 +8% に続き 8 月も 1% 上昇し 3 カ月連続の改善となっております。世界経済については、10 月の IMF 世界経済見通しで 2020 年の世界経済の成長率は前回の類例のない危機と表現した 6 月の見通しから 0.5 ポイント改善の 4.4% を予想し、小幅な上方修正となっております。主要国でプラスを維持するのは中国の +1.9% だけとなっております。

この様に新型コロナウイルスの収束が見えず、世界経済が疲弊していることに加えて、自国中心主義の

広まりによる貿易収支の改善を目指した貿易摩擦から、技術派遣にテーマを移しつつある米中貿易摩擦の激化は、日本を含め世界の製造業にも大きな影響を与えておりますが、また、米国大統領選の行方も非常に気になるところであります。

発足した菅新政権が現下の状況を踏まえて、国際経済秩序の再構築・規制改革・デジタルトランスフォーメーションの社会実装の加速・地域経済の活性化・エネルギー環境政策の推進、あるいは働き方改革の推進等、これらの課題に対しまして大いにリーダーシップを發揮し、社会変革を進めウィズコロナにおける感染拡大防止と経済の早期回復の両立を実現していくことを切に期待しております。

パワーアンドモーションコントロールによる生産や社会インフラの安全に欠かせない重要な役割を担っているフルードパワーで御座いますが、工業会活動では最新の国際情勢・技術動向・新技術への対応支援・人材育成の強化等会員の求める情報の収集と発信に努めております。感染拡大防止に向け、委員会・部会活動もウェブ形式によるものが多く、会員各位にご迷惑をおかけしている所では御座いますが、ご理解とともにご支援よろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、本日ここにご来賓・ご出席の皆様方のご健勝、そして会員各社様のご発展を祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

次に来賓を代表して近畿経済産業局長見康弘製造産業課長補佐よりご挨拶をいただきました。



ご挨拶をされる長見課長補佐

つづいて、本部報告を行った後に支部報告・支部会計報告及び決算報告（案）について審議を求め承されました。

次に西日本支部長交代があり、新しく嶋村英彦川崎重工㈱常務執行役員が西日本支部長に就任され、以下の挨拶がありました。



「本日より2年間、新しく西日本支部長を務めさせていただきます川崎重工の嶋村で御座います。皆様よろしくお願ひ致します。就任にあたりまして簡単にご挨拶申し上げたいと思います。

本日総会に先立ちまして、恒例となりました見学会を開催させていただきました。ここ神戸市は医療産業都市という事を謳っておりまして、このホテルのあるポートアイランドに医療関係の産業を集積させております。今では350社を超える団体・会社が集積している状況になります。そういう事もありまして本日の見学会では、先ず川崎重工とシスマックスが力を合わせて取り組んでおりますPCR検査等を、ロボットを使い自動で行うといった取り組みをご覧いただきました。最短80分でPCR検査の結果が出る事になります。国際間の人の往来がどんどん盛んになれば航空業界も良くなり、私共川崎重工も航空関連に大きく影響を受けておりますので、業績にも早く改善すると考えております。

次にこのポートアイランドにありますメディカロイドにて手術支援ロボット、今アメリカのダヴィンチというロボットがリモートコントロールで動いて世界中で活躍しているわけですけれども、こちらの日本版手術支援ロボットを皆様にご見学いただきました。

こういった形で今コロナをはじめとする様々な社会課題があるわけですが、こういった大きな社会課題の解決というのは、やはり一社一社が取り組んでいても中々進まないですし、難しい所もあるかと思います。我々業界としてもこういった社会課題の解決に向けて、何か大きく寄与することが出来ればと考えている次第であります。

私は精密機械ロボットカンパニーという社内の長も務めておりますけれども、ロボット工業会では技術協同組合という大手ロボットメーカー4社が共同で団体を設立し、ロボットがより多くの場面で使われる様な研究を共同でしようとする動きもあるようです。

我々フルードパワー業界もより連携して出来ればいいなど常々思っておりますが、あまり大きな事を言っても進みませんので、西日本支部としてはその第一歩として会員各社の皆様が先ずは仲良く話ができる機会を増やしていく活動が出来ればと考えております。

微力ではございますが私も力を尽くしていきたいと考えておりますので、会員の皆様のご協力を賜りたくお願いをいたします。

最後になりますが、コロナの影響が早く終わって、そして本日ご参集いただいている皆様方ご来賓様会員各社様の一層のご発展を祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。今後ともよろしくお願ひいたします。

以上議事が進み、足立新事務長から、閉会の辞があり、定刻に無事終了いたしました。

2020年度理事懇談会

支部総会終了後16:10から同じ会場で2020年度理事懇談会を開催しました。理事懇談会には、西日本支部総会に出席された支部会員の皆様もオブザーバーとして参加されました。通常であれば、理事会として開催する運びであるが、今回は、新型コロナ対策のために理事の参加が難しいこと、審議事項がなく報告事項のみのため、出席定数の制限がかからない理事懇談会となりました。

定刻となり、事務局から理事懇談会になった理由と理事・監事出席者数合計14名、代理出席2名の報告がされた後、安藤会長が議長となり2020年度理事懇談会の開催を告げました。議長は来賓として出席していた経済産業省製造産業局産業機械課の安田課長補佐に挨拶を要請し、同氏から最近の業況なども踏まえたご挨拶をいただきました。



ご挨拶をされる安田課長補佐

次に議長は、議事録署名人として代表理事及び監事2名を指名し、議事次第に基づき議事に入りました。

た。議長は、資料の説明を事務局に求め、事務局より説明を行いました。

資料第1号「2020年・年度油圧・空気圧機器需要見通しについて」10月に開催した総需要委員会及び油圧分科会並びに空気圧分科会にて作成した2020年・年度油圧・空気圧機器需要見通しについて説明を行った。

油圧機器は、2020年・年度の市場動向を見ると、市場の約4割を占める建設機械部門が新型コロナウイルス感染拡大の影響で、主力機種である油圧ショベル・ミニショベルが落込み大幅な減少となっている。また、3割強を占める輸出部門も下期に減少幅は縮小するものの回復までには至らず、全ての業種で昨年度を下回る見込みである。

このため暦年は前年比15.0%減の3,302億円、年度は前年度比13.9%減の3,259億円と予測した。

空気圧機器は、2020年・年度の市場動向を見ると、新型コロナウイルス感染拡大の影響で母機の工場稼働が低下しており、自動車をはじめ需要が落ち込んだ。昨年業界を悩ませたメモリ市況低迷が一段落したことや医療機器メーカーによる投資需要が急速に伸びているが、全体の落ち込みを補いきれない。一方で5割を占める輸出については、4~6ヶ月期を底に中国市場の工作機械・スマート関連事業が急回復しており、需要部門別では唯一前年比増の見通しである。

このため暦年は前年比1.7%増の4,215億円、年度は前年度比1.6%増の4,222億円と予測した。

資料第2号「第26回 IFPEX（フルードパワー国際見本市）の開催について」

1年延期された東京2020オリンピックの影響で、第26回IFPEX開催が未定となっていたが、東京ビックサイトから、2021年10月6日から8日の3日間東京ビッグサイト南館で実施できるとの連絡があり、今後実行委員会で詳細を検討していく旨の説明があった。

資料第3号「油圧基礎講座(初級)実施のお知らせ」
今年は、講座をWEB形式で、11月10日に、実習を11月13日に行うことを報告し、参加者が増えるよう要請した。

資料第4号「2021年 新年会開催の件」

新型コロナ感染防止対策を十分する条件の下、東京プリンスホテル プロビデンスホールを使用して、着席にての実施を事務局として検討している。今後

なお状況を見つつ検討の上、決定する。

資料第5号「賛助会員加入状況について」

扶桑チューブペーツ株式会社（入会日：2020年3月18日）、ENEOS株式会社（入会日：2020年8月3日）、株式会社カイバラ（入会日：2020年9月18日）の3社が賛助会員として入会された。

以上で報告を終え、特に質問もなく16:40に無事終了した。

その後、16:50より「エメラルドの間」で、支部会員及び学会等の関係機関の方々と出席理事を交えた合同懇親会を開催しました。はじめに嶋村西日本支部長が開会挨拶と乾杯を行い、参加者一同懇親を深めました。その後、和気あいあいのうちに散会しました。



合同懇親会 嶋村支部長挨拶



合同懇親会会場

なお、翌日行われた「2020年度西日本支部懇親ゴルフ会」は、15名の参加者を得て、六甲国際ゴルフ倶楽部で開催された。

委員会開催・活動状況報告

（詳細については各担当者にご照会下さい）

~~~~~  
需要対策事業

~~~~~

総需要部会油圧分科会

日 時 10月13日(火) 15:00~17:00

場 所 WEB会議にて開催

出席者 中間委員以下7名

事務局 唯根

議 事

例年春に実施している予測作業については、新型コロナウイルスの影響で母機業界の予測資料がコロナの影響を受ける前に実施し公表した数値であり、発表の中止等があったため当会も需要予測作業を中止した。

秋に入って感染拡大が落ち着き、母機業界もコロナの影響を考慮した見直し数値を発表し始めたため、例年の見直し作業時期である今回、見直し作業として会議開催となった。

予測数値については委員長確認の後、関西支部総会理事懇談会にて発表されることとなった。

総需要部会空気圧分科会

日 時 10月16日(金) 15:00~17:00

場 所 WEB会議にて開催

出席者 高下主査以下4名

事務局 藤原、唯根

議 事

例年春に実施している予測作業については、新型コロナウイルスの影響で母機業界の予測資料がコロナの影響を受ける前に実施し公表した数値であり、発表の中止等があったため当会も需要予測作業を中止した。

秋に入って感染拡大が落ち着き、母機業界もコロナの影響を考慮した見直し数値を発表し始めたため、例年の見直し作業時期である今回、見直し作業として会議開催となった。

予測数値については委員長確認の後、関西支部総会理事懇談会にて発表されることとなった。

~~~~~

標準化事業／ISO 対策事業

~~~~~

ISO/TC131 関連国際会議

当初、10月12日から15日まで、フランス・パリにおいて、ISO/TC131 関連の国際会議が開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響で、ISO中央事務局より、2021年1月末までの対面会議を禁止し、可能な限りバーチャルにて実施する旨、通達された。そこで、SC1/WG2(Vocabulary)、SC1/WG4(Product

properties and classification)、

SC3/WG1(Hydraulic cylinder mounting dimensions)、

SC5/WG3(Pneumatic control products)、

SC5/WG5(Treatment of air)、SC6/WG1(Sampling, contamination analysis and reporting)、

SC6/WG2(Filter and separator evaluation)、

SC6(Contamination control)、SC7/WG2(Dimensions for seal housings)、SC7/WG3(Design criteria for standard O-ring applications)、

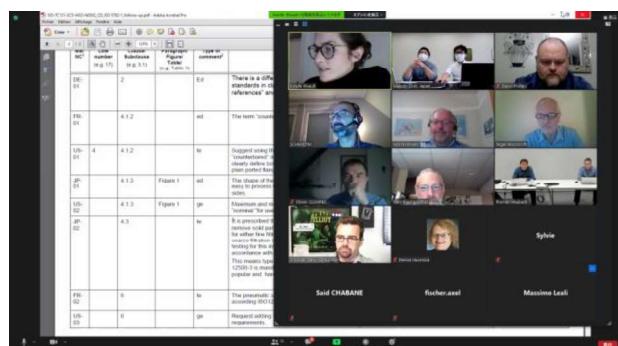
SC8/WG13(Positive-displacement pumps, motors and integral transmissions - Methods of testing and presenting basic steady state performance)、

SC8/WG14(Testing of water hydraulic pumps)、

SC9/WG1(Hydraulic systems)、SC9/WG2(Pneumatic systems)、TC131/WG1(Accumulators)の各会議が、10月12日から23日の間で、ウェブ会議にて開催された。

日本からは、妹尾委員(SMC)、根本委員(SMC)、脇委員(SMC)、土岐委員(コガネイ)、水落委員(大生工業)、町田委員(東京計器)、風間委員(日本アキュムレータ)、杉村委員(日本アキュムレータ)、宗岡委員(NOK)、三好委員(MORESCO)、難波委員(日本ポール)、柳田教授(豊橋技術科学大学)、眞田教授(横浜国立大学)、高牟礼SC7議長(JFPA)、大野委員(JFPA)及び筆者・前畠部長(事務局)の16名が参加した。

会議の詳細については、別途、報告書を作成・発行します。



ウェブ会議の様子

空気圧バルブ分科会

日 時 10月28日(水)、13:30~16:00

場 所 梶振興会館 JFPA会議室+リモート参加

出席者 夏目主査以下7名(うちリモート7)

事務局 前畠

議 事

前回議事録の確認後、ISO/TC131 国際会議について情報共有した。2021年1月末までの開催予定の国

際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。

次いで、ISO/SR_19973-2 に関する日本提案について、提案内容の検討を行った。

次回開催：12月9日、機械振興会館＋リモート参加

油圧フィルタ・作動油分科会

日 時 10月29日(木) 13:30～16:00

場 所 機械振興会館 JFPA 会議室＋リモート参加

出席者 難波主査以下5名(うちリモート:5)

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、次いで、ISO 投票案件について、新規投票案件について審議し、ISO/SR_2943 → Confirm_with_Comments 、 ISO/CDIS_4406 → Approval 、 ISO/TR_4808 発行移行可否の WG_Consultaion→Yes、で投票することとした。

次いで、ISO/TC131 国際会議について情報共有した。2021年1月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。また、今月(10/19、10/21)開催された ISO/TC131/SC6 関係国際会議（ウェブ会議）の参加報告があった。

次いで、JIS_B8356-2 の改正に関して、JIS 原案作成委員会及び様式調整での指摘事項に対する修正内容について審議し、最終原案として提出することとした。

次回開催：'21/1月28日、機械振興会館＋リモート参加

空気圧流量測定分科会

日 時 10月30日(金) 13:30～16:00

場 所 機械振興会館 JFPA 会議室＋リモート参加

出席者 妹尾主査以下6名(うちリモート:6)

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、ISO/TC131 国際会議について情報共有した。2021年1月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。また、今月(10/15)開催された ISO/TC131/SC9/WG2 国際会議（ウェブ会議）及先月(9/17)開催された ISO/TC131/SC5/WG3 国際会議（ウェブ会議）の参加報告があった。

次いで、ISO_6358-1 追補 Annex の JIS 化に関して、具体的な原案内容について討議した。

次回開催：'21/1月22日、機械振興会館＋リモート参加

* ISO の動き

投票に付されている ISO 規格案 (FDIS, DIS)

(TC131)

ISO/CDIS 4406, Hydraulic fluid power – Fluids – Method for coding the level of contamination by solid particles

~~~~~

標準化事業／規格事業

~~~~~

空気圧コンタミ分科会

日 時 10月2日(金) 13:30～16:00

場 所 機械振興会館 JFPA 会議室＋リモート参加

出席者 田中主査以下3名(うちリモート:3)

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、ISO/TC118/SC3 国際会議について情報共有した。コロナウイルスの影響による対面会議の中止は、12月末まで延長されたとのこと。

次いで、JIS B8392-2 (圧縮空気—第2部：オイルミストの試験方法) の改正について、改正内容の確認と修正作業を行った。

次回開催：11月30日、機械振興会館＋リモート参加

空気圧制御技術分科会

日 時 10月9日(金) 13:30～16:00

場 所 機械振興会館 JFPA 会議室＋リモート参加

出席者 渡辺主査以下4名(うちリモート:4)

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、ISO/TC131 国際会議について情報共有した。コロナウイルスの影響による対面会議の中止は、2021年1月末まで延長されたとのこと。

次いで、空気圧機器と上位機器とのインターフェースに関する用語の制定について、原案に転記した各用語の定義を確認すると共に、必要箇所を修正した。

次回開催：'21/1月29日、機械振興会館＋リモート参加

~~~~~

技術調査事業

~~~~~

技術委員会 技術企画小委員会（第1回）

日 時 10月02日(金) 10:30～11:30

場 所 Web 会議

出席者 井川空気圧部会長、満嶋油圧部会長

事務局 藤原専務、大橋

議 事

事務局から、昨年開催した第1回技術企画委員会での提案に基づき、新部会を具体化するための検討を狙いとして小委員会を開催することとなった旨の説明があり議事に入った。

1. 新部会設立提案の趣旨・背景

藤原専務から、AI、IoTなど世の中の動きが急展開しており、JFPAでも何らかの事業活動ができるのかとの観点で検討し趣意書としてまとめてほしいとの挨拶があり、意見交換を行った。

井川部会長から、作成資料により「2011年にドイツが発表した“Industry4.0”を起点とした動きが産業機器における関連製品にも広がっている。今後JFPAでも新部会を設立して対応すべき。」との提案趣旨説明がなされた。

これに対し満嶋部会長から、油圧においても同様に重要なテーマであり、AI、IoT、DX等いずれも扱う情報量が増えており、従来の製造工場の設備に関わる電気技術者の取り組みとは異なるやり方や人が必要との意見が出された。

引き続き、幅広い分野のどこに焦点を当て、どんな技術者を集めるべきかについて議論した。

2. 当面の活動内容と趣意書作成

井川部会長作成の資料説明に続いて事務局から部会の位置づけを説明した後、趣意書の項立てと部会名称、委員募集等につき検討した。

3. 今後の予定

2~3週間毎にWeb会議を数回開き、趣意書をまとめることとした。

次回開催：11月9日（月）10：30～

技術委員会空気圧部会第571回特許分科会

日 時 10月16日（金）13：30～15：30

場 所 Web 会議

出席者 今野幹事以下4名

事務局 吉田

議 事

はじめに前回議事録及び配付資料の確認を行った。公報の検討と無効理由調査について、2件について新たな証拠資料がなく今回で調査を終了することとした。1件について見解書の作成を依頼することとした。2件については引き続き調査を行うこととした。

特許異議申立および無効審判・検討経過チェック表の確認をした。

次回開催：11月6日（金）Web会議

技術委員会 水圧部会第3回幹部会

日時 10月12日（月）13：30～14：30

場所 Web 会議

出席者 6名

事務局 大橋

1. 内田委員作成市場マップ資料について

A5版パンフレットの市場マップに、実績のある応用分野の実績写真を併載した資料について意見交換を行った。従来の駆動方法が基準であり、特殊な用語も含まれているため理解しにくい点がある。また縦軸は圧力でなく応用分野で区分した方が良いなどの意見があり、水圧部会用資料として編集しなおすこととした。

2. 第一回水圧部会について

10月30日にWwb会議にて実施する。推進役は内田委員とし、現MRGr（市場調査）とPRFr（広報啓蒙）を基本として、活動内容とメンバーの見直しを行う。資料は市場マップ及びブログ更新情報。

技術委員会 水圧部会

日時 10月30日（金）13：30～15：00

場所 Web 会議

参加者 10名

事務局 大橋

新委員の紹介と参加委員の自己紹介、配布資料の確認の後、議事に入った。

1. 2020年度以降の水圧部会の進め方と体制

まずIFPEXの2021年開催が決まったことを報告し、本年度の部会は、部会長不在のまま幹部会による推進体制をとって幹部の輪番によって推進することを説明した。

具体的な活動は、従来のMRグループ、PRグループを踏襲して行う。

2. 市場調査（MRグループ）：市場マップ

内田委員から、見本市等で活用したA5版パンフレット掲載の市場マップをわかりやすく改定することを狙いに検討中であることを報告し、事前に配布したたき台を基に質疑応答及び意見交換を行った。

3. 広報PR（PRグループ）：水圧ブログ

高橋委員から、事前配布資料により2020年に入つてから掲載したブログ記事が説明された。

4. 2021年10月開催 IFPEX 参加方針

来年10/6～8の南館での開催が急遽決まった経緯を報告し、今後水圧部会にて対応していくに際し、各社の参加出典方針を11/12の実行委員会前までに

検討してもらうよう、事務局から依頼した。IFPEX 対応の推進リーダーの選任については幹部会にて相談することとした。

5. 次回開催：年内開催として別途調整する。

~~~~~

中小企業関連事業

~~~~~

中小企業委員会(親会・WG 合同会議)

日時 2020 年 10 月 14 日(水) 14:30~17:00

場所 機械振興会館(B3-6 会議室) 及び

Teams 連動

出席者 機械振興会館への出席者 18 名

Teams での出席者 4 名

事務局 藤原, 大熊



会議全体の様子

議事

- 1.十万委員長より、委員会開催とコロナ禍における状況について説明あり。
- 2.各出席企業(12 社)の各社近況及び現状での各種問題点やコロナ対策についての報告があった。
- 3.経済産業省 産業機械課長 玉井優子様の講演。
・『新型コロナウイルス感染症による製造業への影響と対策』



ご講演をされる玉井課長

4.日本フルードパワー工業会 安藤会長の講演

- ・SDGS と価値創造社会 SOCIETY5.0 におけるイノベーションについて』



ご講演をされる安藤会長

~~~~~

会員ニュース

~~~~~

☆社長交代移転

2020 年 10 月 1 日付けにて、下記の賛助会員の社長交代がありました。

会社名：株式会社丸山製作所
新代表取締役社長：内山剛治
新代表取締役会長：尾頭正伸

~~~~~

今後の主要行事予定

~~~~~

☆12月23日(水) 第32回政策委員会
(場所) 機械振興会館

*2021年

☆1月13日(水) 第90回理事会
(場所) 東京プリンスホテル(芝公園)

☆4月23日(金) 第91回理事会
(時間) 15:30~16:50
(場所) ザ・プリンスさくらタワー高輪
2F「コンファレンス」
理事会懇親会
同上 17:00~18:30
2F「コンファレンス」

☆5月20日(木) 第22回定期総会
(時間) 15:30~16:50
(場所) 東京プリンスホテル
「サンフラワーホール」
総会後の懇親会
(時間) 17:00~18:30
(場所) 東京プリンスホテル芝公園
「マグノリアホール」

☆5月21日(金) 第60回JFPA懇親ゴルフ会
(場所) 詳細未定

~~~~~  
10月に開催された当会各委員会に出席された皆様  
は以下の通りです。(敬称略)

~~~~~  
(需要対策事業)
総需要部会油圧分科会

日時 10月13日(火)

出席者

委員 中間正道(中間正道行政法務事務所)
〃 本高健治(川崎重工業)
〃 中島一成(TAIYO)
〃 篠和田雄二(東京計器)
〃 瀧口徹弥(豊興工業)
〃 上田真也(ナブテスコ)
〃 小泉清(油研工業)

総需要部会空気圧分科会
日時 10月16日(金)

出席者

主査 高下修(SMC)
委員 中間正道(中間正道行政法務事務所)
〃 大朝栄一(甲南電機)
〃 三宮光博(TAIYO)

(標準化事業/ISO事業)
ISO/TC131関連国際会議(ウェブ会議)
開催日 10月12日(月)~23日(金)
出席者
委員 妹尾満(SMC)
〃 根本慎一郎(SMC)
〃 脇和文(SMC)
〃 土岐真人(コガネイ)
〃 水落桂(大生工業)
〃 町田哲治(東京計器)
〃 風間英朗(日本アキュムレータ)
〃 杉村健(日本アキュムレータ)
〃 宗岡祥平(NOK)
〃 三好真介(MORESCO)
〃 難波竹己(日本ポール)
〃 柳田秀記(豊橋技術科学大学)
〃 真田一志(横浜国立大学)
〃 高牟礼辰雄(JFPA)
〃 大野淳一(JFPA)

空気圧バルブ分科会

開催日 10月28日(水)

出席者

主査 夏目清辰(CKD)※
委員 山崎慎也(SMC)※
〃 田路渡(甲南電機)※
〃 保坂周一(コガネイ)※
〃 石毛浩二(TAIYO)※
〃 八手又秀浩(日本ピスコ)※
〃 鈴木一成(妙徳)※

※印はリモート参加

油圧フィルタ・作動油分科会

開催日 10月29日(木)

出席者

主査 難波竹己(日本ポール)※
委員 遠藤剛(SMC)※
〃 水落桂(大生工業)※
〃 大塚宏行(油研工業)※
〃 三好真介(MORESCO)※

※印はリモート参加

空気圧流量測定分科会

開催日 10月30日(金)

出席者

主査 妹尾満(SMC)※

委 員 斎藤悠 (コガネイ) ※
〃 大竹崇 (CKD) ※
〃 高沢清継 (日本ビスコ) ※
〃 香川利春 (東京工業大学) ※
〃 眞田一志 (横浜国立大学大学院) ※
※印はリモート参加

(標準化事業／規格事業)
空気圧コンタミ分科会
開催日 10月 2 日 (金)
出席者
主 査 田中崇行 (SMC) ※
委 員 藤原輝彦 (コガネイ) ※
〃 大嶽康行 (CKD) ※
※印はリモート参加

空気圧制御技術分科会
開催日 10月 9 日 (金)
主 査 渡辺敏之 (TAIYO) ※
委 員 楊春明 (SMC) ※
〃 金子幸夫 (コガネイ) ※
〃 鈴木一成 (妙徳) ※
※印はリモート参加

(技術調査事業)
技術委員会 技術企画小委員会 (第1回)
開催日 10月 02 日 (月)
出席者
油圧部会長 満嶋弘二 (KYB)
空気圧部会長 井川 彰 (CKD)

技術委員会 水圧部会第3回幹部会
日時 10月 12 日 (月)
出席者
委 員 内田 晃 (日本アキュムレータ)
〃 井口 務 (廣瀬バルブ工業)
〃 田邊康弘 (廣瀬バルブ工業)
〃 細井耕平 (堀内機械)
〃 高橋祐輔 (阪上製作所)
〃 大林義博 (KYB)

技術委員会空気圧部会
第571回特許分科会
開催日 10月 16 日 (金)
出席者
幹 事今野英俊 (コガネイ)

委 員 井野雅康 (SMC)
〃 安田善仁 (甲南電機)
〃 細田一也 (CKD)

技術委員会 水圧部会
日時 10月 30 日 (金)
出席者
委 員 黒須 寛 (イハラサイエンス)
〃 舟坂 新 (川崎重工業)
〃 大林義博 (KYB)
〃 高橋祐輔 (阪上製作所)
〃 渡邊宣尚 (豊興工業)
〃 内田 晃 (日本アキュムレータ)
〃 井口 勿 (廣瀬バルブ工業)
〃 田邊康弘 (廣瀬バルブ工業)
〃 細井耕平 (堀内機械)
〃 織井貞夫 (丸山製作所)

(中小企業関連事業)
第1回中小企業委員会(親会・WG 合同)
開催日 10月 14 日 (水)
出席者
委員長 十万幹雄 (神威産業)
副委員長 杉村 登夢 (日本アキュムレータ)
委 員 館 満正 (神威産業)
〃 向 恭男 (大生工業)
〃 小泉 加奈子 (大生工業)
〃 野村 伯英 (南武)
〃 古賀 尚也 (南武)
〃 松井 源太郎 (マツイ)
〃 佐久間 信 (マツイ)
〃 杉崎 秀之 (廣瀬バルブ工業)
〃 山崎 真人 (廣瀬バルブ工業)
〃 澤田啓支朗 (タヨーエンタナショナル)
〃 増田 堅太郎 (増田製作所)
〃 高野 和治 (光陽精機)
〃 松岡 勉 (タカコ)
〃 高橋 友則 (三尾製作所)
代 理 直田考士 (堀内機械)
会 長 安藤 毅 (東京計器)

(振興対策事業)
産機建機部会
開催日 10月 23 日 (金)
出席者
部会長 寺田 稔 (ダイキン工業)
委 員 本高健治 (川崎重工業)

〃 松井基幸（島津製作所）
〃 田中久也（東京計器）
〃 堀 謙二（油研工業）

くの情報が得られます。
<http://www.chusho.meti.go.jp/>

~~~~~  
月間行事概要  
~~~~~

<10月>
2日（金）
・標準化（委）空気圧コントローラ分科会
・技術（委）技術企画小委員会
9日（金）
・標準化（委）空気圧制御技術分科会
12日（月）
・技術（委）水圧部会幹部会
12日（月）～23（金）
・ISO/TC131 関連国際会議
13日（火）
・需要対策（委）油圧分科会
14日（水）
・中小企業委員会
16日（金）
・需要対策（委）空気圧分科会
22日（木）
・西日本支部主催工場見学会
・第13回西日本支部総会
・2020年度理事懇談会
23日（金）
・振興対策 産機建機部会
28日（水）
・ISO（委）空気圧バルブ分科会
29日（木）
・ISO（委）油圧フィルタ・作動油分科会
30日（水）
・ISO（委）空気圧流量測定分科会
・技術（委）水圧部会

☆経済産業省ホームページ

経済産業省のHPでは①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁HPでも中小企業向け施策に関する多